

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024 年 2 月

事業所名 デイサービスまりも平野

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			読書・学習・活動スペース等、活動内容に適したスペースを設備しております。
	2	職員の配置数は適切である	○			ガイドラインに沿った配置数や有資格者を配置しております。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			使用する空間はバリアフリーになっており、必要と思われる個所には手摺りを設置している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			施設会議等でミーティングを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			頂いたご意見を受け止め、業務改善に努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			集計結果はホームページにて公開しています。今後、公開していることを保護者の方にも知って頂けるよう努めます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			毎月、社内で勉強会を開催し職員のスキルUPに努めています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			保護者や利用者の意見をヒヤリングすると共に相談支援専門員の方とも連携し支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			専用のシートを設け状況把握に努めているが、より良い物があれば活用していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			ミーティングで活動内容を話し合い決めていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			多くの事を経験して貰えるように活動を固定化しないようにしております。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			体験や発見を重視しつつ、個々の課題に取り組めるような活動に努めている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			集団での体験を重視しつつ個々の支援についても話し合い計画を決めている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			開始前にミーティングを行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			活動や送迎での様子などをミーティングで伝え合い共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			ミーティングで様子を伝え合うと共に支援の取り組みについて協議しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			送迎時などで常にご家庭での様子をヒヤリングしています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			ガイドラインに基づいた活動を複数取り入れています。今後もより良い支援に繋げられるよう努めています。

関係機関 や保護者との 連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			出来る限り、児童発達支援管理責任者、施設長の2名で参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			毎月利用予定表を配布していると共に、送迎時等を活用し関係機関と情報交換を行っている。またline等を活用し迅速な内奥が出来るように努めています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				該当者がいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			利用開始時や送迎時等に情報の共有を図っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			利用開始時や送迎時等に情報の共有を図っています。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			繋がりのある事業所主催の研修会に参加させていただいております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			地域主催の球技大会等に参加し、障がいのない子どもとの活動や交流を行っております。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			事業所の部会に参加している。また、今後も繋がりを広げ地域交流を図るためにも積極的に参加していくよう努めます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			送迎時やlineを活用し常時様子をお伝えして発達の状況を伝えていますが、共通の理解を深めていけるように努めていきます。
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時にお伝えしておりますが、ご質問があれば常時お伝えしております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			送迎時やlineを活用し子育て等の状況をヒヤリングし適時話をしています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			保護者参加型イベントを開催して、保護者同士の交流を図っております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			迅速な対応を心がけておりますが、今後も対応等に不備が無いよう情報共有等を徹底し整備していきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			ブログにて活動内容を発信していますが、周知して頂けるよう送迎時などに発信状況をお伝えしていきます。
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			今後も利用者や保護者の方にわかりやすくなる様に伝え方に配慮していきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			地域住民を招待する事業は取り組んでいませんが、認識して頂けるよう挨拶等で話をしています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			感染症マニュアルや台風時の利用に関してのマニュアルなどのお知らせをプリント等を配布物を通して説明している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			利用者と共に防災センターでの研修に参加し、年二回以上の防災訓練を行っております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			勉強会やミーティング等で研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			身体拘束の可能性について、モニタリング時等で説明していると共に、支援計画書に記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			契約時やモニタリング時などに様子をヒヤリングすると共に適時、必要な対応しております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			毎日ミーティング時に伝えて記録している。